

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数、売上は共に103%と好調である。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・一部の車種によっては前年同月比で250%の台数が出ており、全体平均でも180%ほど出ている。整備も同じく、約140%入っている。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・エコカー減税やエコカー補助金、新型車効果により3か月前とは雲泥の差であり、良くなっている。
		観光型ホテル（経営者）	それ以外	・あくまでも風評被害で実数値とは異なるが、福島第一原子力発電所の事故による風評被害が徐々に収まってきている。
やや良く なっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・新学期の高校入学に向けて3月末からサイズ取りをしているが、前年とほとんど変わらない枚数の注文が来ている。子供のためにはやはりお金を使うようである。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・ここ1週間でようやく気温が上がり始めたこともあり、春夏衣料を中心に商品が動き出している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・グループ内の他店舗では厳しい状況にあるため、一概に景気が良いとはいえないが、当店の駐車場入口に新規に信号機が付いて入りやすくなったことから、1割以上の来客数の伸びにつながっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・春らしい天気になり、観光目当ての客などが増えているようで、売上増につながっている。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・月の前半はかなり来客が少なく、相当ひどい状況だったが、お彼岸を過ぎたあたりから春の陽気や日差しに誘われた雰囲気、動きが幾分良くなってきている。単価はそれほどでもないが、今までのことを考えれば幾分明るい兆しが見えている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・販売量は厳しい状況が続いているが、以前より単価を上げることはできているため、やや良くなっている。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・月ごとに売上が少しずつ上がってきている。今まで消費を控えていたところが大分伸びてきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3月という時期もあるが、昼夜共にいつもより客数が増えている。それによって客単価も上がっており、売上も少し伸びている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前半は寒さの影響で客足が悪かったが、後半は順調に予約も入り、売上増となっている。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・地元の自動車製造会社が本気で頑張っており、新車の販売が絶好調になって街全体が非常に活気付いている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・3月に入って観光客数が増えている。福島第一原子力発電所に近いということもあって相当減っていた外国人客が、ここ最近は欧米人も含めて増えてきている。時期的に卒業旅行生と思われる大学生くらいのグループ旅行も多く見られる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・株価の上昇等から人々の気持ちも上向いているため、若干の上向きに感じる。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・ほぼ行政外郭系の予算消化が中心だが、年度末ということもあって受注量は拡大している。一般企業の動きは見て取れないが、工業系が多少動き出す兆しがある。
		通信会社（販売担当）	販売量の動き	・進入学、新生活を控えて携帯電話の需要が増える時期だが、例年より販売数が120%ほど向上している。スマートフォン、タブレット端末の普及が進んできている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・依然として前年を大きく下回っているが、東日本大震災の影響から回復傾向にある。
		ゴルフ場（支配人）	それ以外	・寒い日が続き、週末雨天による予約減が多いが、来場者が前年よりも多くなっている。周辺コースの値引きも限度まできている。
その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	販売量の動き	・前月からその傾向はあったが、客数が戻りつつある。平日はそうでもないが、週末や夜間の客が以前のように少しずつ戻りつつあり、当然ながらその結果として売上も少し伸びる傾向にある。		

	美容室（経営者）	来客数の動き	・今月は卒業式やイベント等があり、来客数は増加している。春に向かっておしゃれをしようとする女性の若年層や成人層で動きが見られる。今までの節約志向が薄れてきて気温も上昇すれば、忙しい店が増加してきており、やや良くなっている。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・年度末で完了する仕事があり、少し忙しくなっている。まだ順調に仕事がある状況ではないが、来年度の仕事も少しずつ入ってきている。
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・学校販売のかばんを何校にも出したが、お下がりを使用する子どもが多く、対象人数の75%という所まであり、驚くばかりである。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・例年に比べて寒い日が続いているためか、春休みの人出が感じられない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数は前年比82%だが客単価は120%を上回ったため、どうにか前年の売上を維持している。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・寒い日が続いており、人出が悪い。子どもの新入学や卒業で人が少し動き出している気配はあるが、あまり変わっていない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・太陽光発電やリフォームの物件が出てきて売上は確保できているが、客の動きは決して良くない。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	来客数の動き	・当店自体は学校、学生関係の販売店のため、新学期の準備等で多少は伸びている。観光客は増えてきてはいるものの金額等、実質的な面は分からないため、あまり良いとはいえない。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・天候が安定せず、春物が動かない。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・上旬は天候に恵まれず春物商材の動きが鈍かったが、中旬以降は堅調に推移し、一昨年の売上実績は確保できている。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・前年は東日本大震災の影響もあり、単純比較は大変難しいが、前年同月の震災直前までと比較すると、前月までとあまり変わらない動きである。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客単価、1点単価も変わらない。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・前年の特殊与件から、直近では落ち込みの傾向が見える。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・食品、雑貨は前年の東日本大震災による特需は超えていないが、前々年比ではわずかながら上回ってきている。衣料品は前年落ち込んだ分を取り戻す形で、大きく前年比を伸ばしてきている。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・たばこの販売量は前年比115%と伸びているが、客単価がその分大きく下がり、売上も前年を割っている。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー減税の追い込み需要があったため、やや良い状況は変わらない。
	乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・エコカー補助金の効果で商談数も増えているが、契約は主に新車の軽自動車や中古車においても安価な車が占めているため、大きな利益にはつながっていない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車販売台数が前年比で170%以上に伸びている。前年は東日本大震災もあったため比較にはならないが、良い方向には向いている。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・卒業、入学、入社時期ということで、高い車は無理だが中古車や安い新車等の販売台数が今のところ思ったより出ているが、特別良いという状況ではない。
	住関連専門店（統括）	販売量の動き	・買上客数もほぼ変化なく推移している。
	住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・デフレ傾向は変わらない。特にチラシ掲載商品の価格は、安値の底が見えない。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（従業員）	お客様の様子	・目立った変化はない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・東日本大震災から1年がたったが、前々年のように春らしく来客数が増える季節なのに、今年は前年より良いだけで、今後に期待できるような来客数にはなっていない。寒さの影響だけではなく、政治、経済、すべてで先の見えない状態であるため、世の中全体が沈んでいるようである。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・昼間の来客数は戻りつつあるが、夜は減少している。	

スナック（経営者）	来客数の動き	・送別会は例年並み程度にはあったものの、それ以外の客が本当に少ない。用も無いのに飲んで歩くということがどんどん無くなっているようである。	
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・ツアー客が減少しているが、個人客はおおむね順調であるため、総じて堅調である。付帯売上に伸びは見られず、財布のひもが固い印象である。	
都市型ホテル（経営者）	お客様の様子	・価格を安くしても稼働は上がり、他社も同様の現象である。金額が安いから利用するのではなく、安くても用がなければ利用しない状態であり、企業の経費節減が響いている。	
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・前年は東日本大震災でひどいことになったが、今年は何事もなく進行しているものの、相変わらず景気は良くない。また、ガソリン等いろいろな価格が高くなってきているため大変であり、皆四苦八苦ししている。	
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・3月ということもあっていろいろと人事の切替えや異動などの需要で飲酒の機会が多少多くなり、ホテルの宿泊につながっている部分はあるものの、それを差し引いた場合、あまり良くなっておらず極端に悪くもなっていないため、変わらない。	
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・一部では業績が回復してきていると言われているが、周りが駄目だと言っている顧客が増えてきている。	
旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・販売量がこのところ、また伸び悩んでいる。	
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・簡単な安近短の国内旅行が主で、長期間の海外旅行や少し高めの旅行の需要が少なく、海外出張も伸び悩んでいる。春休みも日帰りツアー等の低料金のもが多く、より高額な旅行への参加者が少ない。	
タクシー（経営者）	お客様の様子	・全体の動きは相変わらず悪い。特に深夜の動きが悪く、前年同月比3%減である。	
通信会社（局長）	お客様の様子	・転居、新入学シーズンで販売数は大幅に上昇しているが、織り込み済みのことである。この季節的要因を除外すると、3か月前と比較しても客の購買意欲などに大きな変化はない。	
遊園地（職員）	来客数の動き	・3月に入って週末の悪天候が影響し、来客数の動きは良いとはいえない。東日本大震災からの回復傾向が見られた3か月前と比べると、来客数の動きに大きな変動は見られない。	
ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・公共料金、電気料金やガス料金の値上げ、また、ゴルフ場でも使っている重油の値上げは非常に不透明な部分があるものの、来場者数はほとんど変わらない。	
競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、買上単価は共にほぼ横ばいで推移している。	
その他サービス〔清掃〕（所長）	それ以外	・桃の節句、お彼岸等、時季的な行事で商材等が動いているが、正月以降、目に映るほどの大きな動きはない。	
設計事務所（所長）	お客様の様子	・引っ越しや転勤などで多少影響が出ると思ったが、それほど影響はなく、3か月前と比べても変わらない。	
設計事務所（所長）	販売量の動き	・行政からの受注は年度末ということで期待していないが、民間からの依頼も少なく、販売量、売上が低迷している。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・クライアントからの問い合わせは少しずつ増えてきているが、あまり変わりはない。	
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・相変わらず土地の動きは非常に悪くなっている。まだ土地が下がるのではないかとということで、客は決断せずに待っている状況が強く見られる。また、貸事務所についてもほとんど引き合いがない。強いて言えば、飲食店関係のスナック、ラーメン屋等についての引き合いはたまにある。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・寒さは街へ出てくる障害になるようである。品ぞろえは春に変えていくが、来客も少なく、商品を手取る客も少ない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・商品の動きが非常に鈍い。量販店の価格を疑ってしまうが、安いからといっても電化製品は余分には必要とせず、地上デジタル放送移行、エコポイント終了後は売上が厳しい状態である。太陽光発電などの提案も、興味は示しても成約にはなかなか結び付かず、消費者は出費を抑えている。

	百貨店（総務担当）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> 一番の有名な菓子メーカーが当店の売場から無くなってちょうど1年が経過したが、まだ毎日その菓子目当ての来客や電話の問い合わせがかなりある。年に1度しか来店しない客が年間では膨大な数になるのは、このメーカーの偉かさだと思わざるを得ない。前年同月も1か月間に650万円という数字があったため、店全体の今月の売上は前年比70%と悪かったが、来月からは通常になる。 	
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	<ul style="list-style-type: none"> ディスカウント店が急激な拡大展開をしてきているため、やや悪い。 	
	コンビニ（店長）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 競合店が入ったため販売量は若干落ちてきてはいるが、客単価は変わっておらず、売上は若干落ちているがやや悪くなっている程度で済んでいる。 	
	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 春物実売期に入ってはいるが、例年より寒い日が続いて暖かい春の陽気が少ないため、春物商材の動きが大変悪い。東日本大震災があった前年の売上と比べても、大して変わっていない。 	
	高級レストラン（店長）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> 売上や来客数などはまだそれほど変わらないが、街中に活気が急速に無くなってきている。 	
	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 景気よりむしろ福島第一原子力発電所の事故の影響による風評被害で、外国人客や観光客がまだ戻ってきていない。 	
	ゴルフ場（業務担当）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 以前に比べて、物品販売、用品関係の売上が伸び悩んでいる。 	
	美容室（経営者）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式などの予約は前年より減少している。また、髪を染める客が減少している。家庭で自分で染めているようで、節約をしている様子が見られる。 	
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 3か月前の年末も売出をしたが、各テナント共に客足が伸びていない。当社も同様に来客数、単価共に横ばいで、販売量自体も上がっていない。 	
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> 2月以降の寒波や大雪による気象要因のため、やや悪くなっている。 	
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 地価下落のため、土地の所有者である一般の地主が売ろうとしない。急ぎよ資金が必要になった人を除き、売物が極端に少ない。仕入ができないことには売買案件もできず、供給で苦労している。 	
	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> ガソリンの単価が上昇し、景気が読めない状況になりつつある。資材単価、物流単価への転嫁が心配である。 	
	悪くなっている	家電量販店（店長）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 前年3月は家電エコポイントの最終月だったため、駆け込み需要が期待されたが、東日本大震災の影響で本格営業ができなかった。前年との比較は困難だが、入進学や異動によるマーケットでにぎわうはずが、まとまった買物が少ない。
		スナック（経営者）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> 来客数の動き、販売量の動き、単価の動き、客の様子、競争相手の様子、すべて当てはまり、前が見えない状態で、本当に大変である。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ずっと長く続くことはないと思うが、今は取引先の設備関係の注文が増加している。 	
	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 例年は年度末を終えて、4～6月生産分の受注は減少傾向にあるが、今年は4月生産分の3月受注は年度末と変わらない。特装車両（ミキサー車）の販売納期回答は、3月発注で9月納期となっている。中古市場も品薄の状態、新車販売が大変好調である。取引先も復興需要の関係が3～5年続くとみて、増産体制に入っている。 	
	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 数量的に大きな伸びはないが、今まで動きが止まっていた印刷関連の仕事等、久しぶりに動き出す案件が出てきている。 	
	金融業（役員）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 当社の景況レポートでは3月は若干落ちる予測だが、当営業部の取引先の数字はまだすべて出ていないため、まだ分からない。前年の9月と比べると12月は上昇傾向だったため、少し様子見といったところである。 	
	経営コンサルタント	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 季節的要因や、これまでの低調な状態からの小反動的要因による、強さに欠ける一時的な回復ともいえるが、金属製品、化成品等の製造業、建設業、文具事務用品の卸売業、観光地の小売業などでやや売上が戻っている。 	

	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に増加傾向にある。価格などは厳しい状況に変わりないが、少しずつ改善されつつある。
変わらない	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・ガソリン価格の高騰による影響で来客数の減少が見られ、土産品店への出荷減、工場売店での売上減となっている。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工業用製品の受注では、例年に比べて今月は駆け込みの注文が非常に多い。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特注品については動きがないものの、店頭商品の受注には多少の動きがある。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災の被害を受けながらも、良い成果が出せるように今、一丸となって頑張っている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・期末でもあり、受注量は安定している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年だと3月末決算の企業が多いため仕事が減少するが、今年は途切れることがなく、予想以上に多い。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・11～3月までは同じような状況である。別に悪くもなく、やや良くなっている感じだが、取引先、販売量等は変わらずに推移している。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月まで年度末の計画設備の販売が続き、来月以降も行政向けがメンテナンス込みのリースで、9月まで予定がほぼ埋まっている。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・荷主のなかには、特に新生活商材や節電等の状況で、白物家電や引っ越し依頼等は前年並みの仕事量を確保している。また、雑貨、防災グッズ等の動きで、インターネット通信販売系の物量が増しているが、現在の原油高による燃料コストの負担が増して利益が薄く、厳しくなっている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・売上が増えず、減少している。
広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・売上が好調な取引先と、非情に厳しい取引先とに二極化している。特に飲食やサービス業態ではその傾向が強い。最近、結婚式場を多店舗展開していた運営会社が倒産した反面、来客数が非常に好調な式場などもあり、この傾向は変わらず続く。	
新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・前月に続き、春物の売行きが鈍い。靴店では新入学用や婦人物関係などが伸びておらず、百貨店でも前年を下回っていると聞いている。チラシ出稿量は東日本大震災の影響で前年比は134.8%となっているが、前々年比では98%と、戻り切っていない。	
社会保険労務士	取引先の様子	・厳冬の影響は各業種それぞれで、全体では大きな変化はない。	
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年に入って受注量が徐々に減ってきており、3月に年度末の駆け込み需要があるかと思ったが、在庫調整のためか逆に受注量が一気に落ちてしまった。例年なら駆け込み需要で大きく返ってくるが、今年に限っては無く、売上の的にも工数的にも大分余ってしまっている状況である。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・主力自動車メーカーからの受注量は3か月前と比べて高水準にはあるが、少しずつ生産の3か月見通しが下がってきている。3月までは何とか水準は高いものの、4月以降は見通しの上で落ち込み始めている。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・展示会を行ったが、集客、売上共に目標を10%ほど下回っている。地金が高止まっている。
	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・契約価格を履行してもらえない状況が生じている。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・年度末を迎えて、経費が掛かるような清掃など設備面の維持管理はテナントの意向により見合わせるというような話があり、仕事が減少している。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・決まりきった仕事しかない状態で、景気の回復の兆しが見えない。
悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・灯油単価が跳ね上がり、このままの調子でいくと年間150万円以上は値上がり分で取られてしまう。そこに電気料金まで上がるとなると、完全に赤字になる。更に原料まで上がり始めているため、相当苦しくなっている。

		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っており、3月末時点で受注高は前年比94%と健闘している。今後は時期を考えると発注が少なくなるため、新規顧客先の確保が重要だが、同業他社も同じ状況であり、一層の営業努力を強いられている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・このところ仕事量が増え、会社の売上も少し上がってきたため、3か月前よりは良くなっている。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・円安で、輸出産業が好調である。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・周辺企業の様子は電子、電気、自動車関係の部品等が若干持ち直しているようである。また、募集も若干、傾向としては増えてきているようだが、あくまでも12月までの動きとほぼ同じくらいに向かっているようである。それ以外の小売販売等の動きは、全般的に活発さが見られる。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・派遣の求人数が停滞しているため、3か月前と比較して派遣社員の退職に対する穴埋めの補充は必要無い状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で増えているが、緊急雇用創出事業求人が多く、求職者が希望している製造職や事務職での正社員求人が少ないため、紹介就職件数に反映されず、景気が上向きになっているとはいいがたい。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業者からの現場作業員を主とした求人申込が順調で、持ち直しの動きが感じられるが、他の業種においては目立った動きが見られず、雇用動向は横ばいである。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・特に3月は大量に解雇する事業所が目立っている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業は円安傾向で一服感は多少あるものの、受注が不安定で先行き不安が消えず、求人に明るさが全く戻らない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求職者数の動き	・求人数は例年どおりこの時期増加するが、ここ数年続いている欠員補充の状況は変わらない。また、求人はあるが企業の求める人材との開きがあり、求人があっても応募できないミスマッチの状況も多くある。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者が若干増えているが、求人数は伸びておらず、景気の良い事業所の情報も聞かない。	
悪くなっている				